

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	港区芝 2-1-27 穴水ビル 2 階
園名	ニチイキッズ芝公園保育園

1 活動のテーマ

<テーマ>

鏡と光と色 3.4.5 歳児

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

鏡の特徴について知り、鏡と光をつかっていろいろな遊びを展開したのちに、光のアトリエを造る

2 活動スケジュール

12/26

鏡を使ってできる表現方法や遊びを知る

様々な素材を使い、うつしだされる色の違いを楽しんだり光の中で、ストーリーを作って遊びだすなど遊びを展開する

1/8

光と色のアトリエを友だちと一緒に作りあげる

自由な物語をつくり、その役になって演じてみる

シーツやスクリーンに映し出される模様や形をみていろいろなイメージが湧く

1/9

プロジェクターを使って、活動を振り返り、個々に感じたことを発表したり、意見を出し合う

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

プロジェクター、スクリーン、ダイヤブロック、オーガンジー、シーツ、デスクライト、ベビーミラー、懐中電灯、フリーパーテーション、ウォーターブロック、コンセント、ソーラーランタン、カメラ、カラーセロハン、クリア下敷き、油性ペン、ペンライト、鏡

4 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ プロジェクターにうつしだされる光をみながら、プロジェクターを通してどのようにしたら色や影、光がうつしだされるのかや、光を通すもの、通さないものがあることに気づいたり、知る
- ・ 鏡で遊ぶ
- ・ 光や影のクイズを楽しむ
- ・ 光や色のアトリエを友だちと一緒に作り、アトリエ内を探検する
- ・ 振り返りをして発表する

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

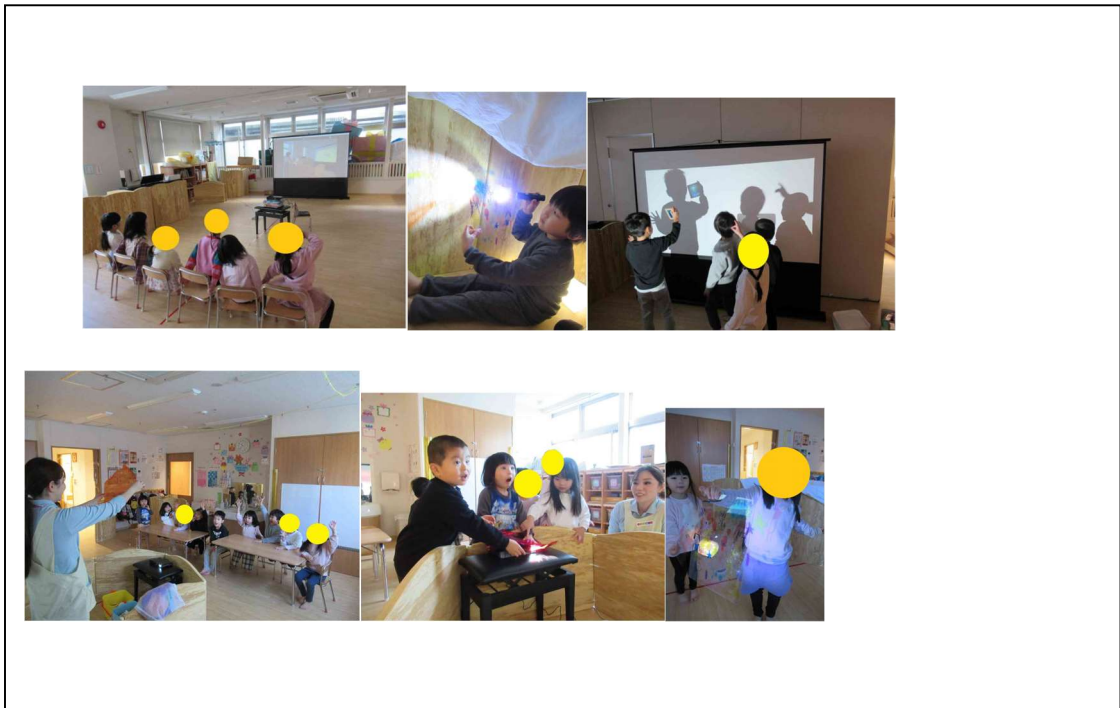
（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

スクリーンに映し出された光を「おもち」「しかく」などそれぞれの感性で見えたものとして発言していた。写し出すものにより、色が影になったり、透き通ったりすることの違いに「なんでだろう」と疑問に思う子どもが多くいた。

光と色のアトリエづくりでは、下敷きに絵を描いて光をあてて写し出す遊びに興味を示す子どもが多くいた。そこから、自分の洋服に光をあててみたりするなど自分たちで光の見え方などの変化をどのようにしたら観察できるかを考える姿がみられた。

アトリエづくりが楽しかったなど、自分の感想や思いを発表することができていた。

5 振り返り



<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもの発想が豊かでいろいろなことに興味や疑問をもちながら、一人で、あるいは先生や友だちと遊びを発展する姿がみられた。この体験や興味関心から調べることや学ぶことの楽しさ面白さしっていくのだと感じ、保育の中での環境構成やねらいをもって保育をすることの重要性を改めて感じた。